

## 最近の管内経済概況

(2021年4月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、  
一部に持ち直しの動きがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、緩やかに持ち直している。
- 個人消費は、持ち直しの動きに弱さがみられる。
- 観光は、一部に下げ止まりの兆しがみられる。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、持ち直しの動きがみられる。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2021年6月14日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2021年6月現在)

発表月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあり、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあり、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる</u>	
生産活動	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	<u>緩やかに持ち直している</u>	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
観光	<u>弱い動きがみられる</u>	<u>悪化しつつある</u>	<u>悪化している</u>	悪化している	<u>一部に下げ止まりの兆しがみられる</u>	一部に下げ止まりの兆しがみられる	
公共工事	減少している	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	減少している	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	
住宅建設	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	<u>持ち直しの兆しがみられる</u>	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	
民間設備投資	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

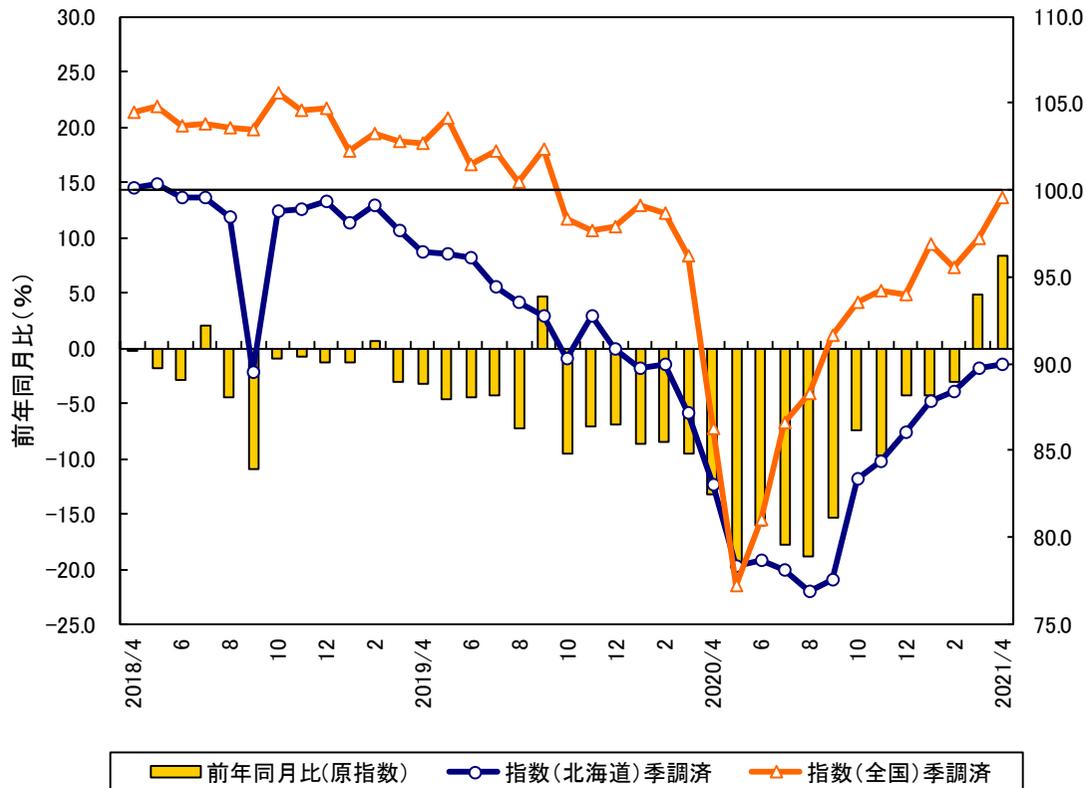
 上方修正  据え置き  下方修正

# 生産活動 ～ 緩やかに持ち直している ～

4月の鉱工業生産は、前月比+0.3%と8か月連続で上昇した。  
 上昇業種は、一般機械工業など6業種となった。低下業種は、食品工業など9業種となった。

< 4月 >	
季節調整指数	
北海道 (速報)	90.0 (前月比 + 0.3%)
全国 (速報)	99.6 (前月比 + 2.5%)

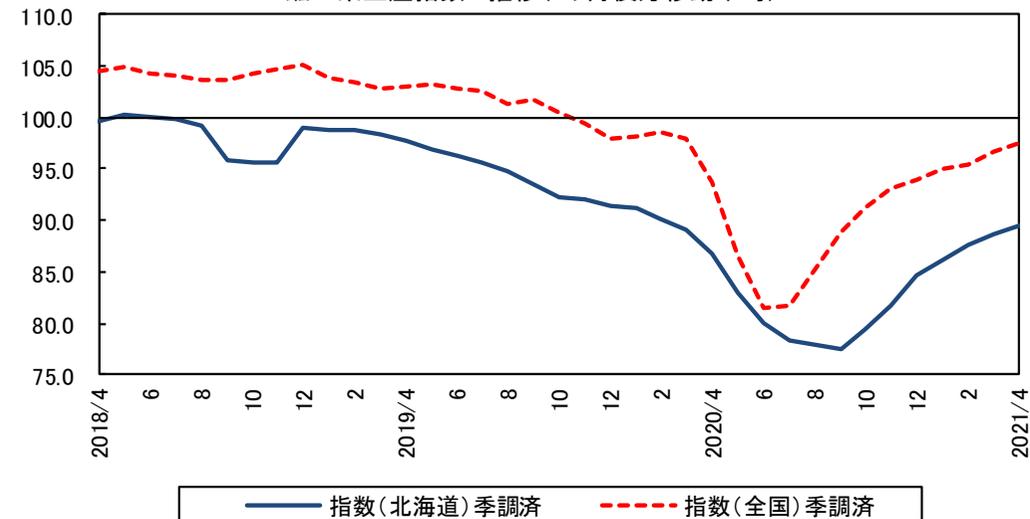
鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



## 【ヒアリング内容】

- ・受注が重なったことから、一般機械の生産が増加した。  
(一般機械工業)
- ・雑種紙は、自動車産業向けが好調だったことや、5月の定期修理に向けた在庫積み増しを行ったことから、生産が増加した。  
(パルプ・紙・紙加工品工業)
- ・一部都府県に緊急事態宣言が出されるなどして業務用の需要が減ったため、クリームの生産が減少した。(食品工業)
- ・北米・中国における活発な自動車需要により、電子部品の生産が増加した。5月以降も同程度に好調な状態が続く予定。  
(電気機械工業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



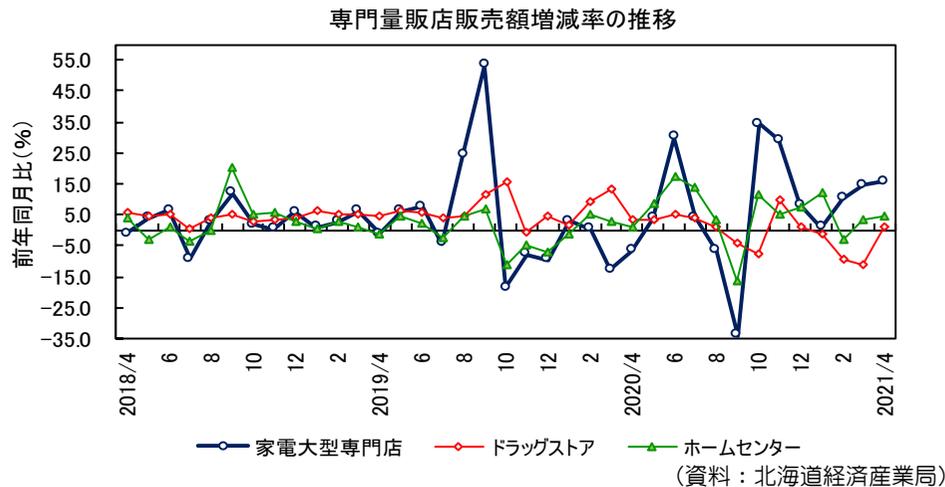
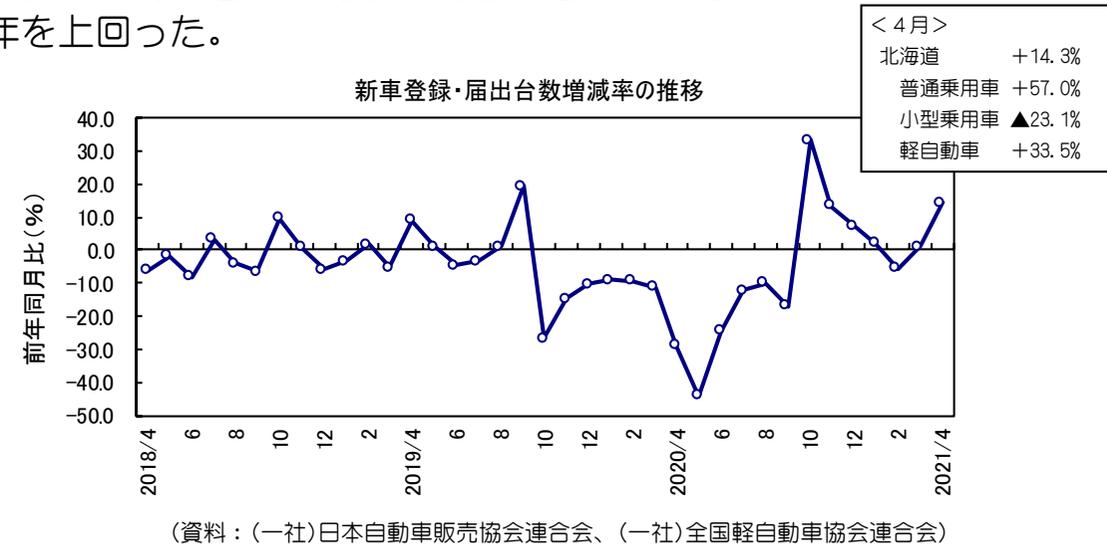
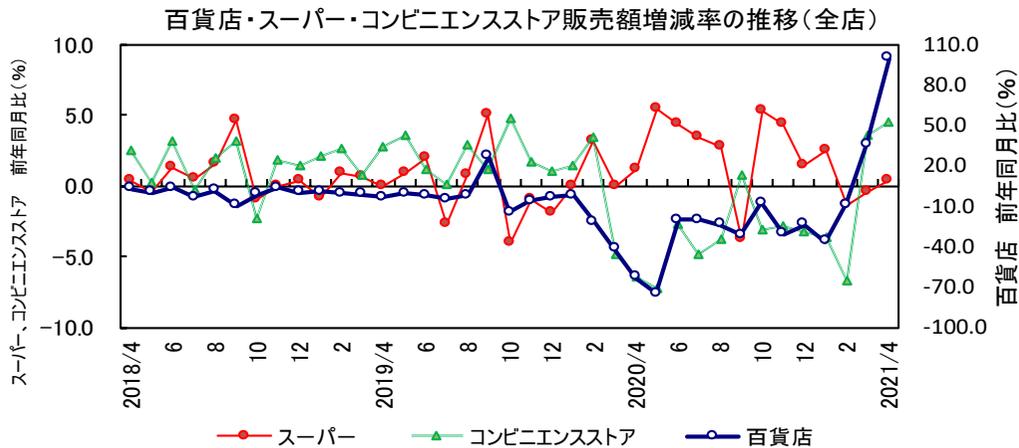
— 指数(北海道)季調済    - - - 指数(全国)季調済

(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

4月の個人消費は、全ての業態が前年を上回った。 ※前々年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- 百貨店は、前年同月に営業時間の短縮や臨時休業があった反動増などにより、前年同月比+99.7%（前々年同月比▲26.1%）と2か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、前年同月に衣料品の需要が大幅に減少した反動増などにより、同+0.4%（同+1.5%）と3か月ぶりに前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+4.5%（同▲2.3%）と2か月連続で前年を上回った。
- 家電販売は、同+15.8%（同+8.0%）と7か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+1.1%（同+4.4%）と4か月ぶりに前年を上回った。ホームセンターは、同+4.5%（同+5.3%）と2か月連続で前年を上回った。
- 新車販売は、同+14.3%（同▲18.8%）と2か月連続で前年を上回った。



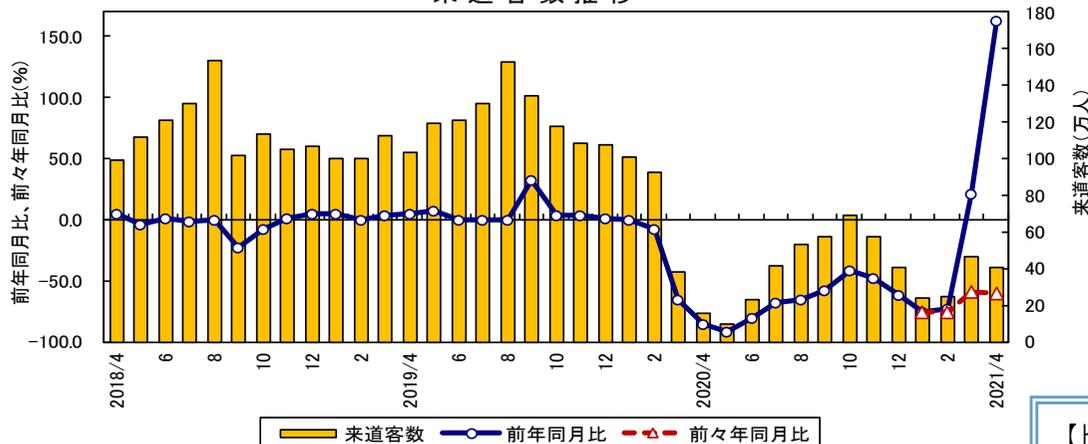
## 【ヒアリング内容】

- 前半は全体に売上が戻ってきたが、後半から新型コロナウイルス感染者数が増加してきた影響で、売上、客数ともに減少傾向となった。（百貨店）
- 感染症の影響を受けて以降、家飲みなどの家ナカ需要が継続しているほか、お弁当やおにぎりなどの売上が回復してきており、人の流れが戻ってきた。（コンビニエンスストア）
- 大型テレビなどの大型家電が引き続き好調であった。また、掃除機などの生活家電の買い換えも順調に動いている。（家電大型専門店）
- 前年と比較して、衛生用品などの売れ行きが落ち着いてきたほか、他の商品も売れ行きが戻りつつある。（ドラッグストア）
- D I Y 需要が継続しているほか、天候に恵まれて園芸用品の売れ行きも良かった。（ホームセンター）

# 観光 ～ 一部に下げ止まりの兆しがみられる ～

4月の来道客数は、前年同月比+163.2%（前々年同月比▲60.8%）と2か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、0人で同▲100.0%と19か月連続で前年を下回った。

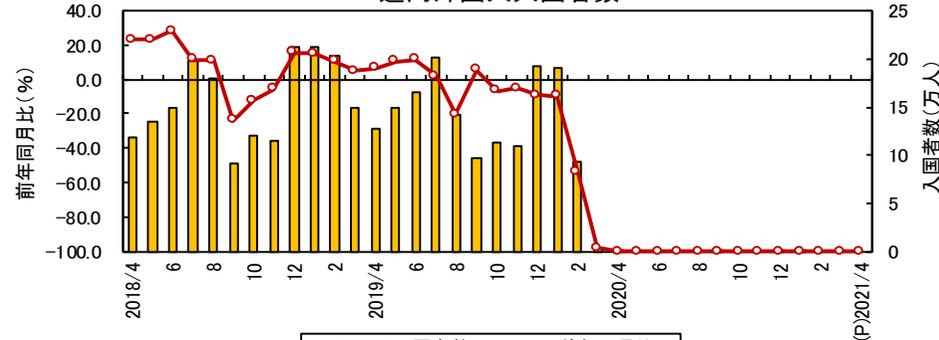
来道客数推移



< 4月 > 来道客数 406,629人 (+163.2%)  
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

道内外国人入国者数



(資料：法務省)

注(P)は速報値

< 4月 >  
 入国者数 0人(▲100.0%)

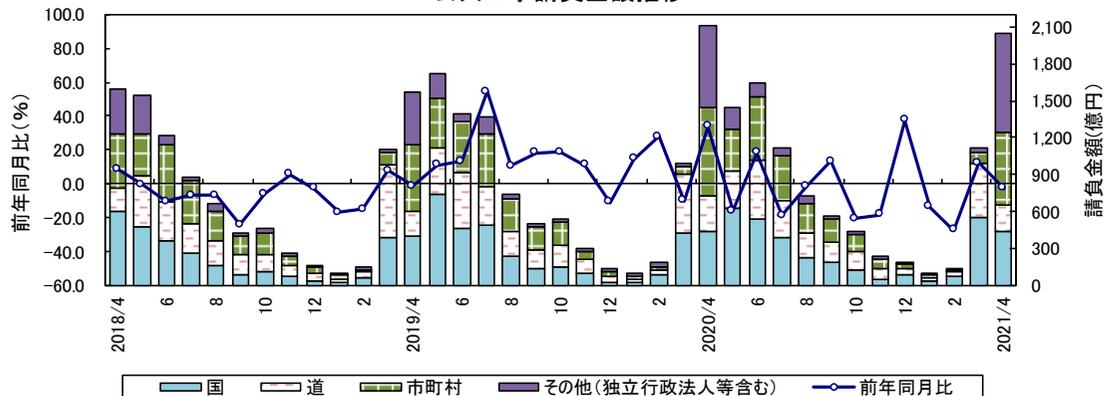
## 【ヒアリング内容】

- 4月は、前年は政府の緊急事態宣言で下旬から観光施設が全て休止していたため、今年は前年比では2倍程度の観光客の入り込みとなっており、GWまでは前年よりは良い状況であった。しかし、5月の緊急事態宣言後は観光客は顕著に減少し、先行きが見通せない状況となっている。（関係機関）

# 公共工事 ～ 減少している ～

4月の公共工事請負金額は、国は前年を上回ったが、道、市町村が前年を下回り、前年同月比▲2.7%と2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額推移



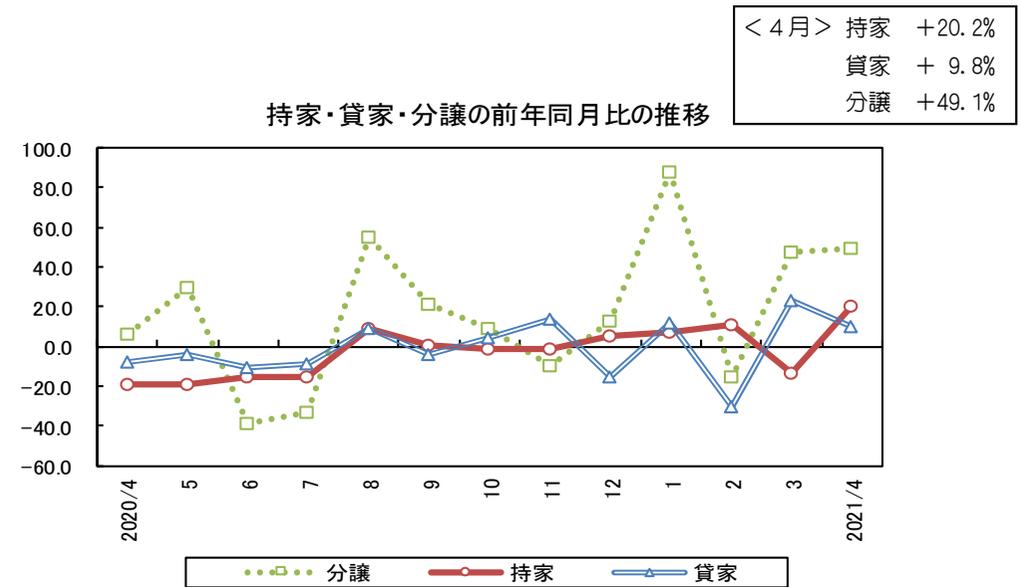
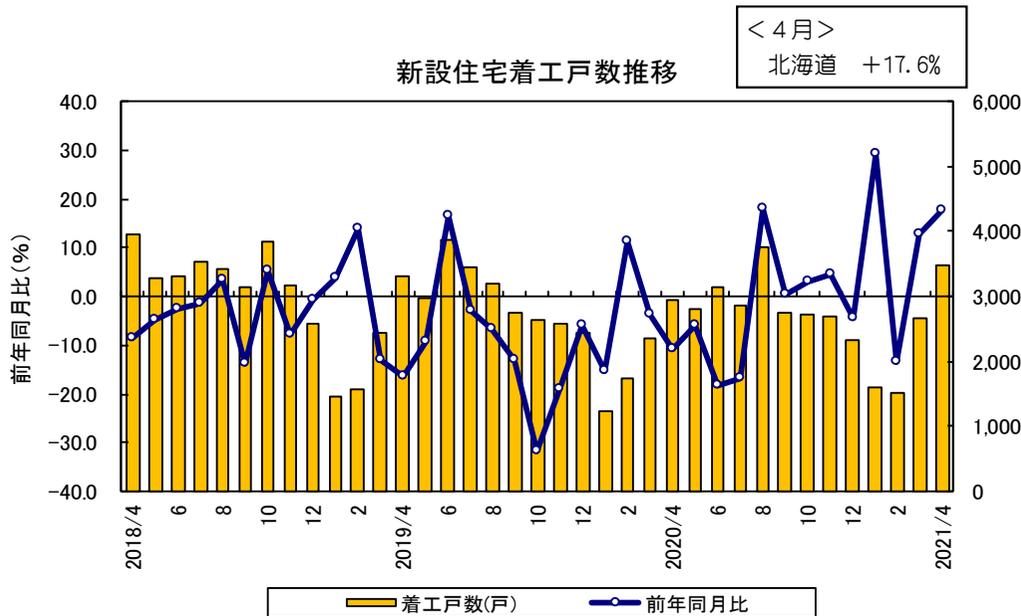
< 4月 >  
 北海道 ▲2.7%  
 (内訳)  
 国 +0.7% 道 ▲28.8% 市町村 ▲16.8% その他 +21.6%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の全てで前年を上回り、前年同月比+17.6%と2か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 減少している ～

2021年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲4.7%と2年連続で前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2021年4月1日発表

	2020年度	2021年度
北海道	▲ 13.0%	▲ 4.7%
製造業	▲ 0.4%	▲ 21.3%
非製造業	▲ 19.1%	+ 5.0%
全国	▲ 5.5%	+ 0.5%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2021年3月12日発表

	2020年度	2021年度
全産業	▲ 8.6%	▲ 11.7%
製造業	▲ 17.7%	▲ 27.4%
非製造業	▲ 2.9%	▲ 3.7%

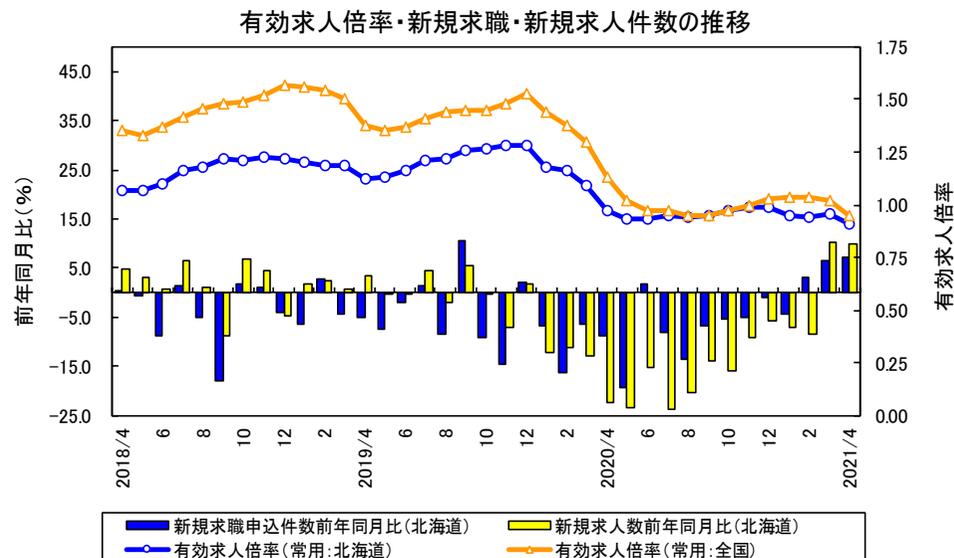
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

4月の有効求人倍率は、0.91倍と前年同月差0.06ポイント減少し、16か月連続で前年を下回った。

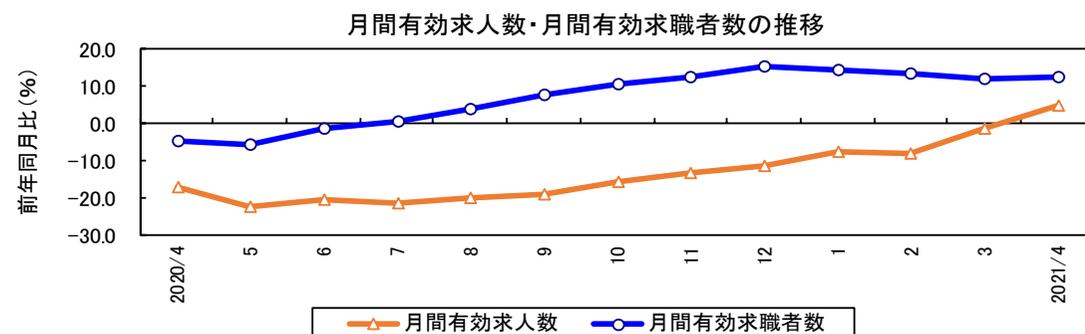


< 4月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.91倍
	新規求人数(前年同月比)	+ 9.8%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+ 7.1%
全国	有効求人倍率(常用)	0.95倍

< 4月 >

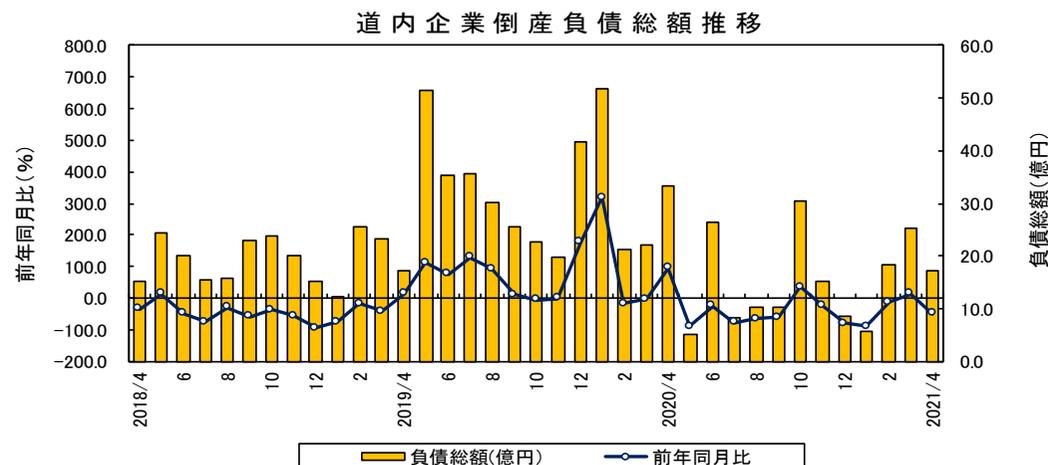
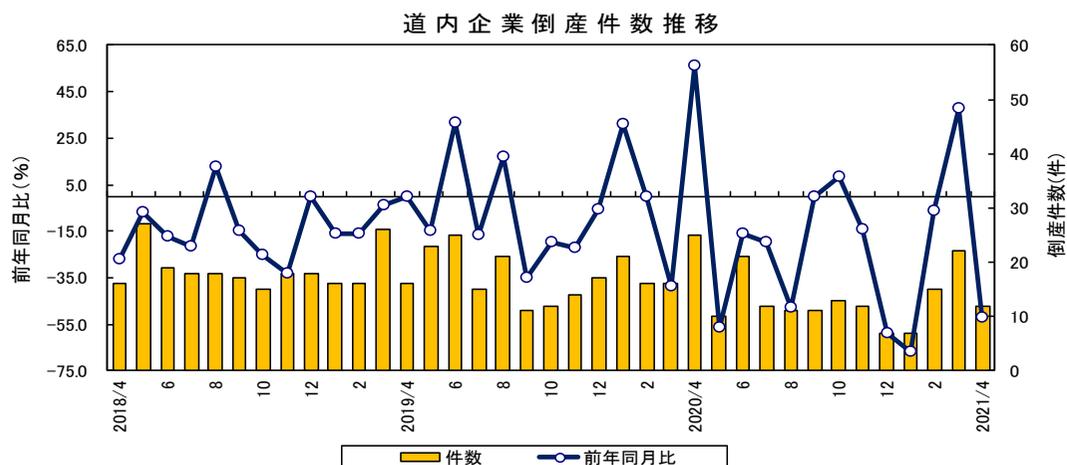
月間有効求人数	(前年同月比)	+ 5.0%
月間有効求職者数	(前年同月比)	+ 12.5%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している ～

4月の倒産件数は12件で前年同月比▲52.0%（13件減）、また、負債総額は17.3億円で同▲48.4%と、いずれも2か月ぶりに前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)